

第136期 中間報告書

自 平成29年4月1日 → 至 平成29年9月30日



日本冶金工業株式会社
(<http://www.nyk.co.jp/>)

証券コード 5480



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



日本冶金工業株式会社



代表取締役社長

木村 始

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第136期の中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずは、平成29年5月14日に当社川崎製造所熱延工場で発生しました火災につきまして、皆様に多大なるご迷惑と

ご心配をおかけしましたことをここに改めて深くお詫び申し上げます。

事故発生後、直ちに再発防止策を含む操業再開に向けた体制整備に注力いたしました結果、当初予定よりも約20日程早く、9月24日に熱延工場の全面操業再開に漕ぎ着けることができました。

この間の関係各方面のご支援に厚く御礼申し上げます。当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績や雇用情勢の改善を背景とした民間設備投資の増加や個人消費の回復傾向等により総じて緩やかな回復基調が続きました。

ステンレス特殊鋼業界におきましては、供給面ではアジア地域において過剰な状態が解消されておらず国内への輸入量が増加傾向にある一方、需要面では国内景気の緩やかな回復基調に加え米国・中国向けを中心に自動車や半導体

製造装置等の輸出が堅調に推移したことによる需要増加が見られました。

このような経営環境の中、当社グループといたしましては、継続してステンレス一般材販売価格の適正化に努めるとともに、戦略分野である高機能材（ステンレス鋼や合金の中でも高耐食性、耐熱性、高強度等、高い機能性を持つ材料）の更なる強化に向けた生産能力向上、原料ソースの拡大等の取り組みに努めました。

しかしながら、前述の火災事故による生産数量減少の影響から、当第2四半期連結累計期間の販売数量は、前年同期比17.1%減（高機能材19.5%減、ステンレス一般材16.6%減）となり、売上高は527億93百万円（前年同期比7億51百万円減）となりました。

利益面につきましては経常利益5億10百万円（前年同期比1億70百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は

△2億78百万円（前年同期比6億7百万円減）となりました。

このような収益状況にあり、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、中間配当を見送らせていただくことといたしました。

今後のステンレス特殊鋼業界につきましては、国内外ともに経済は回復基調にあり、堅調な需要が見込まれます。当社グループでは、国内外の堅調な需要に 대응していくとともに、「中期経営計画2017」に基づく諸施策を着実に実行してまいります。

また当社といたしましては、今回の火災事故を真摯に受け止め、再発防止に取り組み、信頼回復に努めてまいります。

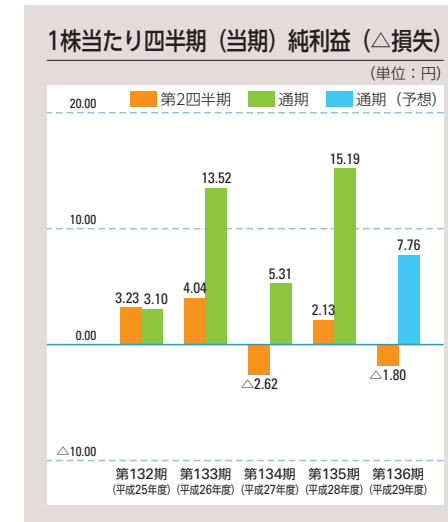
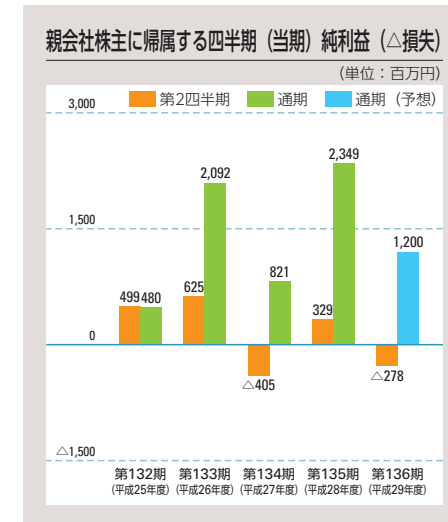
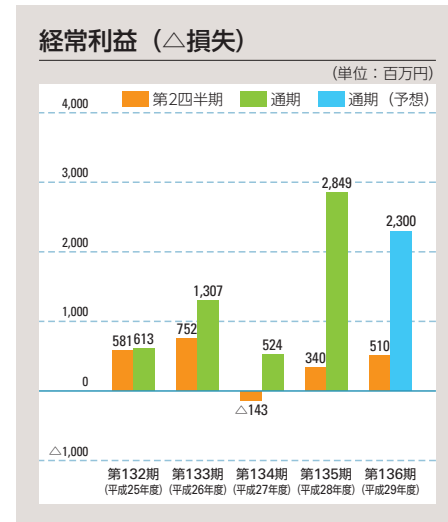
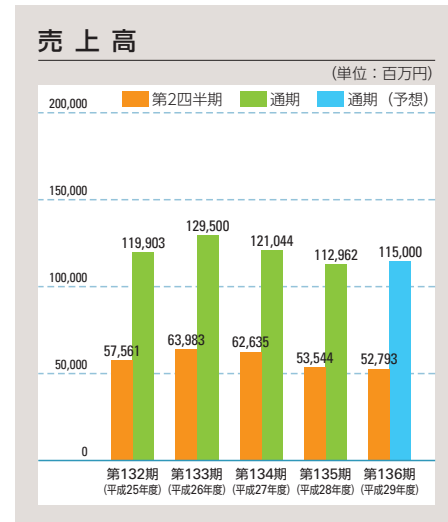
株主の皆様におかれましては、なにとぞ絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月

連結財務ハイライト

目次

- 株主の皆様へ..... 1
- 事業概況..... 3
- 連結財務諸表..... 5
- 会社の概要..... 7
- 活動報告..... 8
- 製品紹介..... 9
- 株主メモ..... 10



【表記に関する注記】

※ 本中間報告書における収益関連数値につきましては、期初からの「累計値」を用いています。したがって、「第2四半期」と表記されている数値は、当該期における第1四半期(4/1～6/30)と第2四半期(7/1～9/30)との合計値を意味します。

※ 本中間報告書における決算数値につきましては、原則としてそれぞれの数値の百万円未満を四捨五入した上で表記しております。したがって、例えばP3「■売上高(単体)」のグラフにつきまして、各期(各年度)の左側(ステンレス鋼板、高機能材、その他)の数値の合計と、右側(国内、輸出)の数値の合計は、本来同一のものですが、個別の数値を四捨五入して表記していることから、「合計」値に一部相違が生じる場合があります。また、各財務諸表上も、各科目を加算した値と「合計」値とが、必ずしも一致しない場合があります。

事業概況

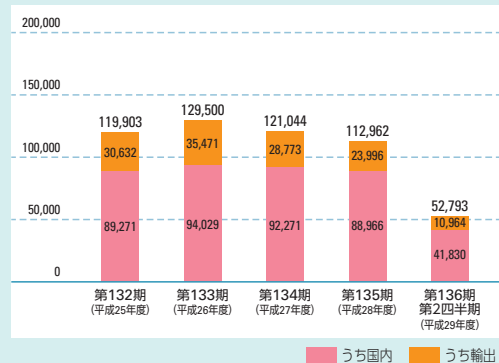
当社グループの戦略分野である高機能材につきましては、原油価格の上昇に伴う石油・ガス分野向け用途の回復や太陽光発電等の環境・エネルギー分野向け用途の継続等、海外向けを中心に需要は堅調に推移いたしました。

またステンレス一般材においても国内景気の緩やかな回復基調により業務用厨房関連や建築関連の需要の増加が見られました。しかしながら、平成29年5月14日に発生した当社川崎製造所熱延工場火災事故による生産数量減少の影響から、前年同期比17.1%減の販売数量を余儀なくされました。

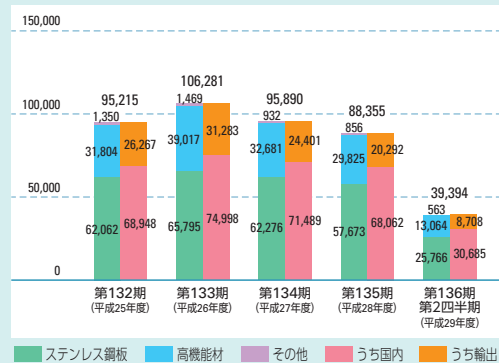
但し好調な国内需要や主原料であるニッケルの価格の堅調な推移に支えられて、製品価格が比較的高位安定的に維持できたことから、当第2四半期累計の連結売上高は、527億93百万円と前年同期比1.4%減にとどめることができました。このうち、国内売上高は418億30百万円、輸出売上高は109億64百万円となっております。(国内：輸出＝79.2%：20.8%)

川崎製造所熱延工場は9月24日から全面操業を再開いたしました。今後取引先はじめ関係者からの信頼回復に努めつつ国内外の堅調な需要に応じていくとともに、「中期経営計画2017」に基づく諸施策を着実に実行してまいります。

■ 売上高 (連結) (単位：百万円)



■ 売上高 (単体) (単位：百万円)



売上高内訳表 (単体)

区分		第135期第2四半期 (A)	第136期第2四半期 (B)	前年同期比 (B/A)
高機能材	販売量 千 t	21.0	16.9	80.50%
	売上高 百万円	13,837	13,064	94.41%
ステンレス鋼板	販売量 千 t	97.7	81.5	83.38%
	売上高 百万円	26,768	25,766	96.26%
その他	売上高 百万円	400	563	140.66%
合計	売上高 百万円	41,006	39,394	96.07%
うち輸出	売上高 百万円	9,045	8,708	96.28%

重要な子会社等の状況

①子会社

平成29年9月30日現在

会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
ナ ス ト ー ア 株 式 会 社	百万円 100	100.00 %	ステンレス鋼および高機能材の溶接鋼管の製造ならびに販売
ナ ス 鋼 帯 株 式 会 社	682	100.00	ステンレス磨帯鋼製造ならびに販売
ナ ス 物 産 株 式 会 社	785	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
ク リ ー ン メ タ ル 株 式 会 社	200	100.00	ステンレス鋼、特殊鋼および加工品の販売ならびに加工
ナ ス ク リ エ ー ト 株 式 会 社	90	100.00	ステンレス製品梱包用資材の販売および損害保険代理業
ナ ス エ ン ジ ニ ア リ ン グ 株 式 会 社	102	100.00	設備設置工事、他エンジニアリング事業
ナ ス テ ッ ク 株 式 会 社	100	100.00	特殊鋼・ステンレス鋼の製造・加工に係わる作業受託業務
宮 津 海 陸 運 輸 株 式 会 社	32	100.00	港湾運送、貨物自動車運送、通関業ならびに加工砂の販売
NAS TOA (THAILAND) CO.,LTD.	千バーツ 220,000	99.99	ステンレス鋼管および加工品の製造販売

(注) 議決権の所有割合には間接所有割合が含まれております。

②持分法適用関連会社

会社名	資本金	議決権の所有割合	主要な事業内容
三 豊 金 属 株 式 会 社	百万円 20	49.00 %	ステンレス鋼および非鉄金属材料の販売ならびに加工

(注) 議決権の所有割合は間接所有割合です。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

科目	当第2四半期末 平成29年9月30日現在	前期末 平成29年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	59,012	55,662
現金及び預金	6,430	6,045
受取手形及び売掛金	19,121	20,477
商品及び製品	6,265	6,951
仕掛品	16,078	14,133
原材料及び貯蔵品	8,816	7,755
その他	2,762	781
貸倒引当金	▲ 461	▲ 481
固定資産	81,151	79,948
有形固定資産	74,459	73,965
建物及び構築物	10,890	11,016
機械装置及び運搬具	22,434	21,951
土地	38,705	38,698
その他	2,431	2,301
無形固定資産	1,143	1,296
投資その他の資産	5,549	4,687
投資有価証券	4,890	3,978
その他	681	730
貸倒引当金	▲ 22	▲ 22
繰延資産	49	57
社債発行費	49	57
資産合計	140,211	135,666

POINT

流動資産

主として火災事故の影響により、たな卸資産（「商品及び製品」「仕掛品」「原材料及び貯蔵品」の合計）が前期末比約23億円増加しております。

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 平成29年9月30日現在	前期末 平成29年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	65,047	61,065
支払手形及び買掛金	18,849	17,024
短期借入金	26,295	26,071
1年内償還予定の社債	754	754
1年内返済予定の長期借入金	9,752	10,839
賞与引当金	949	962
その他	8,449	5,414
固定負債	38,223	37,713
社債	1,362	1,739
長期借入金	16,604	15,796
退職給付に係る負債	9,770	9,674
環境対策引当金	3	2
金属鉱業等鉱害防止引当金	5	5
その他	10,479	10,498
負債合計	103,270	98,777
(純資産の部)		
株主資本	33,294	33,959
資本金	24,301	24,301
資本剰余金	9,542	9,542
利益剰余金	▲ 410	255
自己株式	▲ 140	▲ 139
その他の包括利益累計額	3,642	2,925
その他有価証券評価差額金	1,793	1,107
繰延ヘッジ損益	▲ 1	1
土地再評価差額金	1,744	1,744
為替換算調整勘定	105	74
非支配株主持分	5	5
純資産合計	36,941	36,889
負債純資産合計	140,211	135,666

(注記)

保証債務額	1	1
受取手形割引高	1,880	1,570
受取手形譲渡高	687	484

POINT

純資産

当第2四半期末における自己資本比率は26.3%となりました。

四半期連結損益計算書

科目	当第2四半期 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	前第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日
売上高	52,793	53,544
売上原価	47,052	47,783
売上総利益	5,741	5,761
販売費及び一般管理費	4,901	4,802
営業利益	840	959
営業外収益	263	153
受取配当金	57	46
固定資産賃貸料	46	50
為替差益	93	-
その他	66	57
営業外費用	594	772
支払利息	446	542
為替差損	-	14
その他	148	216
経常利益又は経常損失(▲)	510	340
特別利益	6	2
特別損失	764	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(▲)	▲ 249	342
法人税等	29	13
四半期純利益又は四半期純損失(▲)	▲ 278	329
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(▲)	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(▲)	▲ 278	329

(注記)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失(▲)	▲1.80円	2.13円
-----------------------------	--------	-------

POINT

売上高

戦略分野である高機能材を中心に需要は堅調に推移しておりますが、平成29年5月14日に発生しました当社川崎製造所熱延工場での火災事故の影響により、販売数量は減少しました。この結果、当第2四半期の売上高は前年同期比約8億円の減収となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当第2四半期 自平成29年4月1日 至平成29年9月30日	前第2四半期 自平成28年4月1日 至平成28年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,698	3,706
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(▲)	▲ 249	342
減価償却費	1,810	1,911
退職給付に係る負債の増減額(▲は減少)	96	154
受取利息及び受取配当金	▲ 58	▲ 47
支払利息	446	542
売上債権の増減額(▲は増加)	1,357	928
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲ 2,320	1,837
仕入債務の増減額(▲は減少)	1,825	▲ 1,268
その他	454	▲ 90
小計	3,361	4,310
利息及び配当金の受取額	58	55
利息の支払額	▲ 391	▲ 540
法人税等の支払額又は還付額(▲は支払)	▲ 330	▲ 119
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,144	▲ 1,647
有形及び無形固定資産の取得による支出	▲ 1,154	▲ 1,640
その他	10	▲ 7
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,180	▲ 2,216
短期借入金による純増減額(▲は減少)	196	▲ 990
長期借入れによる収入	5,987	3,927
長期借入金の返済による支出	▲ 6,266	▲ 5,077
その他	▲ 1,096	▲ 76
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	▲ 52
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	402	▲ 210
現金及び現金同等物の期首残高	5,935	4,830
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,337	4,620

POINT

営業活動によるキャッシュ・フロー

主として棚卸資産の増加により、営業活動によるキャッシュ・フローの合計額が前年同期比約10億円減少しました。

取締役および監査役

平成29年9月30日現在

代表取締役社長	木村 始
代表取締役	久保田 尚志
取締役	堀内 晃
取締役	木内 康裕
取締役	道林 孝司
取締役	佐野 鉦一
常勤監査役	小林 靖彦
常勤監査役	岸田 守美
監査役	前田 博美
監査役	岸木 雅彦

(ご参考)
取締役のうち、道林孝司および佐野鉦一の2氏は社外取締役であります。また、監査役のうち、岸田守および岸木雅彦の2氏は社外監査役であります。

執行役員

平成29年9月30日現在

執行役員社長	木村 始
専務執行役員	久保田 尚志
常務執行役員	堀内 晃
常務執行役員	木内 康裕
常務執行役員	野田 真人
常務執行役員	王 昆
執行役員	佐々木 秀一
執行役員	小林 伸互
執行役員	浦田 成己
執行役員	永田 顕二
執行役員	伊藤 真平
執行役員	山田 恒

会計監査人

平成29年9月30日現在

八重洲監査法人

国内拠点

平成29年9月30日現在

本社	東京都中央区京橋一丁目5番8号 (三栄ビル) (☎104-8365) 電話 (03) 3272-1511
大阪支店	大阪市中央区高麗橋四丁目1番1号 (興銀ビル) (☎541-0043) 電話 (06) 6222-5411
名古屋支店	名古屋市中区栄町二丁目3番6号 (NBF名古屋小路ビル) (☎460-0008) 電話 (052) 211-1102
九州支店	福岡市中央区天神一丁目15番6号 (綾杉ビル) (☎810-0001) 電話 (092) 722-4170
広島支店	広島市中区紙屋町二丁目1番22号 (広島興銀ビル) (☎730-0031) 電話 (082) 243-0039
新潟支店	新潟市中央区東大通一丁目2番25号 (北越第一ビル) (☎950-0087) 電話 (025) 247-9261
川崎製造所	川崎市川崎区小島町4番2号 (☎210-8558) 電話 (044) 271-3012
大江山製造所	京都府宮津市字須津413番地 (☎629-2251) 電話 (0772) 46-3121

海外現地法人

平成29年9月30日現在

NIPPON YAKIN AMERICA, INC. (シカゴ現地法人)	2800 S River Road Suite 140, Des Plaines, Illinois 60018, U.S.A. TEL: +1 (847) 227-9730
日邦冶金商貿 (上海) 有限公司 (上海現地法人)	Rm.1018, Shanghai International Trade Centre, 2201 Yan An Road(W), Shanghai, China TEL: +86 (21) 5239-2670 FAX: +86 (21) 5239-2679
NIPPON YAKIN EUROPE LIMITED (ロンドン現地法人)	72 Hammersmith Road, London, W14 8TH, United Kingdom TEL: +44 (20) 7858-0948 FAX: +44 (870) 928-9968
NIPPON YAKIN ASIA PTE. LTD. (シンガポール現地法人)	10 Anson Road, #31-09 International Plaza, Singapore 079903 TEL: +65-6226-2376 FAX: +65-6226-3426

海外展示会「NACE CORROSION 2017 CONFERENCE & EXPO」への出展

平成29年3月27～30日の4日間、当社はアメリカ・ルイジアナ州ニューオーリンズにおいて開催された展示会「NACE CORROSION 2017 CONFERENCE & EXPO」に出展しました。この展示会は設備・装置の防食技術をテーマとして、ステンレス鋼などの耐食素材メーカーや防食技術メーカーなどが出展する世界的な見本市であり、アメリカで毎年開催されるものであります。

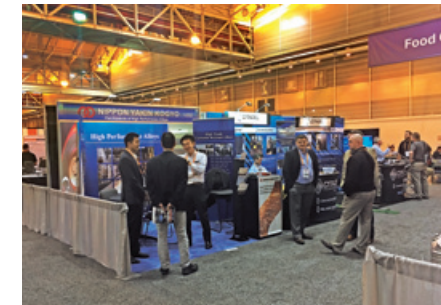
当社の海外における認知度向上、高機能材や高付加価値材の拡販のための新規有望顧客へのPRと開拓、および既存顧客との商談や交流などを目的として、2004年にアメリカで開催されたステンレス鋼やNi合金メーカーの展示会「Stainless Steel World America」に初参加して以来、アメリカ、ヨーロッパ、中国などにおいて開催された展示会に計29回（うち日本国内2回）の出展を重ねてきました。

今回、展示ブースの広さは例年通り3m×3mのスペースに、当社高耐食・耐熱ステンレス鋼およびNi合金 (High Performance Alloys) の種類と用途例を示したロールスクリーンを展示し、またパンフレット等により当社の高機能材をアピールしました。期間中60名ほどの方に当社ブースに訪れていただきました。

今後も当社および高機能材のPRと顧客開拓のため、海外展示会への出展を続けていく予定です。今年はこの他に11月28日から30日の3日間、オランダで開催される「Stainless Steel World」に出展いたします。



「NACE CORROSION 2017 CONFERENCE & EXPO」展示会場の様子



当社ブースでの来訪者との面談の様子

船舶エンジン排ガス浄化装置 SOxスクラバー

世界的な環境保護意識の高まりから、船舶においても排ガス中の硫黄酸化物 (SOx) を規制する動きが始まっています。すでに国際海洋機関において2020年までに現在船舶用燃料として一般的に使われているC重油に含まれている3.5%の硫黄 (S) 分を0.5%以下に引き下げることが決定されています。一方、燃料の変更には様々な課題が残されているため、排ガス中のSOxを低減する浄化装置 (SOxスクラバー) の設置も認められています。

SOxスクラバーは排ガスを海水のシャワーで洗浄し、含まれるSOxを低減する装置ですが、処理水や排ガス中には硫酸が生成するため、その腐食に耐える高耐食ステンレス鋼が必要とされます。そこで当社の高耐食ステンレス鋼NAS64とNAS254Nが国産第一号の「三菱SOxスクラバー」に採用されました。この第一号機は「マリンエンジニアリング・オブ・ザ・イヤー2016」を受賞し、更に「シップ・オブ・ザ・イヤー2016」を受賞した川崎汽船株式会社様運用の自動車運搬船"DRIVE GREEN HIGHWAY"に搭載されています。



製造中の三菱SOxスクラバー本体 (三菱化工機株式会社様提供)

川崎汽船株式会社様Webサイト

https://www.kline.co.jp/news/detail/1208238_1454.html

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel. 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ (http://www.nyk.co.jp/) いたします。 ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取扱いできませんので、ご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【株式に関するお手続きについて】

1. 特別口座に記録された株式

特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、下記連絡先までお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・特別口座から一般口座への振替請求 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・住所、氏名等のご変更 ・特別口座の残高照会 ・配当金の受領方法の指定(※)	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	[お手続き用紙のご請求方法] ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/

※特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例分配方式はお選びいただけません。

2. 証券会社等の口座に記録された株式

証券会社等の口座に記録された株式の各種お手続きにつきましては、一部を除き原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
・郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 0120-232-711 (平日9:00～17:00)
・上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	